

# 「マクロ経済学Ⅰ」試験問題

(担当者名：蓮見 亮)

2012年7月20日(金) 9:30~10:30 施行	学部	学科	年	組
・試験時間 60 分、全 3 ページ ・回収は 1 枚目のみ ・持ち込み不可 ・電卓使用可	学生証番号			
	氏名			

問1. 以下の文章を読んで【 】の中に適当な語句を次の枠線の内の語句から選んで記入し、[ ]の中の正しい語に○をつけなさい。

商品貨幣	貨幣供給	一般物価水準	技術	不換紙幣
計算単位	価値貯蔵手段	資本	交換手段	均衡

- (1) 貨幣には三つの機能がある。【 】としての貨幣は、取引を実行するための手段を提供する。  
 【 】としての貨幣は、価格や他の経済的価値を記録するための手段を提供する。  
 【 】としての貨幣は、購買力を現在から将来へと移すための手段を提供する。
- (2) 金などの【 】は、本源的価値をもつ貨幣である。すなわち、貨幣として使われなくても価値がある。  
 日本銀行券のような【 】は、本源的価値をもたない貨幣である。すなわち、貨幣として用いられなければ価値を持たない。
- (3) 経済の一般物価水準は、長期的には貨幣需要と貨幣供給が等しくなるように調整される。中央銀行が【 】を増加させると、物価水準が [ 上昇・下落 ] する。
- (4) 貨幣の中立性原理の主張によると、貨幣量の変化は [ 名目変数・実質変数 ] のみに影響を与え、  
 [ 名目変数・実質変数 ] には影響を与えない
- (5) 経済学者は、総需要と総供給のモデルを利用して短期的経済変動を分析する。このモデルによると、財・サービスの産出量と【 】は総需要と総供給が【 】するように調整される。
- (6) 総需要曲線は、横軸を産出量、縦軸を物価水準とすると [ 右下がり・垂直・右上がり ] である。
- (7) 長期において、財・サービスの供給量は経済の労働と【 】と天然資源と【 】に依存し、一般物価には依存しない。したがって、長期の総供給曲線は、横軸を産出量、縦軸を物価水準とすると [ 右下がり・垂直・右上がり ] である。

問2. ある企業が現在 1,000 万円投資すると、その3年後に 1,100 万円を獲得できる投資プロジェクトを持っているものとする。【 】の中に当てはまる数値を記入しなさい。答えの小数点以下第1位を四捨五入して整数で回答すること。また [ ]の中の正しい語に○をつけなさい。

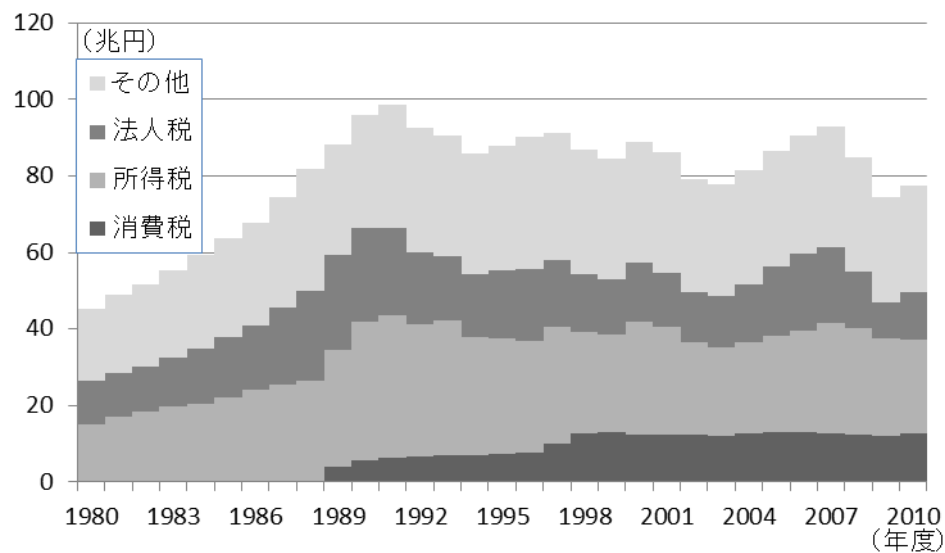
- a) N年後の X 万円の現在価値は、割引率を r % とすると、 $\frac{X}{(1+0.01 \times r)^N}$  万円なので、割引率が 4 % のとき、3年後の 1,100 万円の現在価値は【 】万円である。したがって、企業はこの投資を実行 [ すべきである・すべきでない ]。
- b) 同様に、割引率が 3 % のとき、3年後の 1,100 万円の現在価値は【 】万円である。このとき、企業はこの投資を実行 [ すべきである・すべきでない ]。
- c) 一般に [ 大きい・小さい ] 割引率を想定するほど、投資プロジェクトの現在価値は小さくなるので、投資プロジェクトは [ 実行されやすく・実行されにくく ] なる。



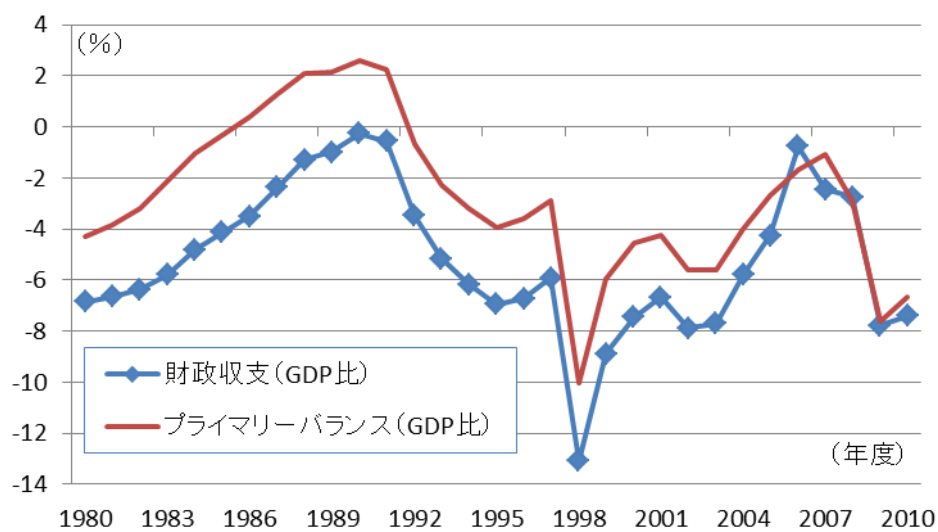
(解答欄は1ページ目、2ページ目にあるため、3ページ目は回収不要)

【参考図表】

図表1 税収計とその内訳 (SNA ベース)



図表2 財政収支、プライマリーバランス



図表3 平成24年度一般会計予算 (億円)

歳出		歳入	
社会保障関係費	263,901	租税及印紙収入	423,460
文教及び科学振興費	54,057	その他収入	37,439
国債費	219,442	公債	442,440
地方交付税交付金等	165,940		
防衛関係費	47,138		
その他	152,861	歳入／歳出合計	903,339

図表4 GDP ギャップ

